

先駆けを!

学校報

望洋

夢の実現におけて!

東海大学付属望洋高等学校  
編集:メディアセンター  
2014年1月16日 第97号

☆最新ニュース☆

- 年頭の挨拶 黒坂道生校長より
- 吹奏楽部 第12回定期演奏会
- 3年「知的財産教育講演会」

- 1年「性教育講演会」
- SP&BSSP 講座報告〔歴史・素粒子〕
- 土曜講座 1月25日/2月1日・8日

☆ 年頭の挨拶 ☆ ～「一日生きることは、一歩進むことでありたい」～

校長 黒坂 道生

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎えると誰もが新鮮な気持ちになります。これからは各学年のしめくくりの時期であると同時に、4月からの3年生の新天地への準備や1・2年生の新年度に向けた準備の時期でもあります。今年一年をどのように過ごすか、新年の決意をしっかりとつことが大切です。我々は自分の目標を達成させるときに、事前に計画を立て、手順を考えてから始めます。最初に立てた計画の良し悪しが、全体の工程に影響を与えます。よく考えられた実現可能な計画であれば、順調に進み、やりがいを感じながら目標達成に向けて一歩一歩前進することができます。また、その計画を実行しようとする原動力は、何かを成し遂げようという強い決意です。すなわち、積極的に毎日を過ごしている人は、その決意のもとに意欲的に自分の生活を送っている人と言えます。様々な挑戦ができる高校時代だからこそ、自分の夢や希望に向かって目標を掲げ、強い決意をもって、しっかり毎日を過ごしてほしいものです。ここに新年を迎えて、どのような決意をしたか、その決意を家族や友人に伝えてください。そうすることで、その目標達成に向けた計画のスタートがうまく切れます。是非、決意宣言をしてみてください。

私は物理の教師ですが、物理の勉強をしたいと思うきっかけとなったのが、高校1年の時に読んだ、物理学者の湯川秀樹が書いた自叙伝『旅人—ある物理学者の回想—』という本でした。この本は、1949年に日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹の生い立ちから、ノーベル物理学賞受賞対象になった「中間子理論」の論文を発表するまでの約27年間に起きた様々な出来事が、味わいのある文章で書かれています。無口で内向的な少年が孤独に親しみ、数多くの読書を通して空想の世界を広げ、迷いながらも家族や学校での様々な人との出会いから、自らの進むべき道を物理学に見出していく姿がみずみずしく描かれています。偉大な物理学者が身近に感じられ、進路に悩んでいた私に勇気と夢を与えてくれた本でした。その湯川秀樹が若者向けの講演会で、「青少年たちのためにメッセージを」と頼まれて色紙に書いたことばが、「一日生きることは、一歩進むことでありたい」です。若者に勇気をもって着実に生きることの素晴らしさを語りかけています。一日生きることが、一歩前に進んでいると実感できるように、自分を高めていく人生を歩んでいきたいものです。そして、「若き日に汝の希望を星につなげ」です。

☆ 吹奏楽部 第12回定期演奏総会 ☆ ～ Boyo Wind's Full of love to you ～

市原市市民会館大ホール 12月23日(月)14時開演～

3年6組 近藤 一則(市原市南総中学校出身)

定期演奏会、この日は私達一年間の活動の集大成であって、この演奏会をもって3年生は引退となりました。私達は、今年度のスローガンとして、「Unison<結束>～覚悟を決めろ～」という言葉掲げ、この日に向けて活動してきました。今年は、プロのチューバ奏者である佐藤和彦先生をゲストとしてお招きし、共演させて頂きました。この日を迎えるまで、苦しい時も沢山ありましたが、仲間や家族の支えがあって、ここまで来られたと感じています。なお、定期演奏会を開催するにあたり、皆様にはご協力頂き本当にありがとうございます。後輩たちには今後も、もっともっと上のレベルの活動、演奏を目指して最後まで成し遂げてほしいと思っています。



## ☆行事☆ ～望洋高校、日々の素顔～

3年「知的財産教育講演会～起業家精神について～」 12月16日(月)講師：東海大学チャレンジセンター 園田由紀子氏

3年3組 堀 秀平(千葉市立松ヶ丘中学校出身)



私は起業家というものは才能だと思っていましたが、今回の講話を聞き、才能ではなくスキルと精神がもっとも重要だと気付かされました。また、企業は利益だけを求めているのではなく社会に貢献することが大切であることも学びました。「日本ではもっと若い人が商売や経営の舞台に出て企業のトップとして活躍すべき」というユニクロ社長の柳井正氏の言葉にとっても共感しました。現代の社会には、小学生で企業する人、サラリーマンをやりながら掛け持ち起業・週末起業をしている人など起業の仕方は様々ですが、私も含め

若い人はチャレンジ精神で起業すべきだと思います。そのためまず、社会に目を向け何が必要かを見極める力を大学で養いたいと考えています。

1年「性教育講演会～高校生の性について考えてみよう」 12月17日(火)講師：宗田マタニティクリニック院長 宗田哲男氏

1年5組 佐藤 優(茂原市立南中学校出身)



「性教育」についての講演は、私たち高校生にとって大変貴重な話でした。男性・女性の性器の仕組み、性行為による感染性やトラブルなど、今まで保健体育で学んだことがより深く分かりました。特に、出産の映像は衝撃的でした。同時に、一つの命が生まれることがいかに尊いことかを実感することができ、また家族、特に母への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。それでも、その奇跡ともいえる命の誕生を、中絶という形で無理矢理終わらせている人が多いのも事実です。少しでも、この悲しい出来事が減るように、私たち全員で真剣に考えなくてはならないと感じました。

## ☆ SPP&BSSP 講座報告☆ ～〔歴史・素粒子〕～

2013年度 BSSP 講座〔歴史〕第1回講座

「古代の世界を解き明かすサイエンスⅡ～考古学に活用される科学技術～」10月18日(金)(日本科学未来館)

内容：科学コミュニケーション 講師：日本科学未来館事業部対話プログラム開発課科学コミュニケーター 高見裕一氏/日本科学未来館運営事業部施設運営課科学コミュニケーター 岩崎 茜氏 参加：スーパー特進コース1年

BSSP〔歴史〕は、SPP&BSSPの入門編として歴史を紐解く科学技術を学習します。今回は、「地球温暖化を防ぐための科学技術とは何か」をフィールドワークのテーマとして設定し講座を展開しました。はじめに、地球温暖化のしくみを確認するため、「Geo-Scope」から温暖化データを読み取りました。タブレットPCを用いて興味ある画像から有益な情報を得ることができました。フィールドワーク実習では、展示フロアからテーマに関する情報収集を行い、グループディスカッションを行い、ホワイトボードに発表内容をまとめ、プレゼンテーションを行いました。



2013年度 BSSP 講座〔歴史〕第2回講座

「古代の世界を解き明かすサイエンスⅡ～考古学に活用される科学技術～」11月19日(火)(千葉市科学館)

内容：年代測定の基礎&フィールドワーク 講師：千葉市科学館館長 大高一雄氏/千葉市科学館教育普及企画戦略担当 針谷亜希子氏 参加：スーパー特進コース1年

BSSP〔歴史〕第2回講座は、千葉市科学館での実習です。前回の講座で学習したフィールドワーク実習の続きと、年代測定法の基礎となる元素・同位体・放射線に関する学習を展開しました。はじめに、大高館長より原子と原子核、質量数、同位体など化学基礎で学習した内容の復習がなされ、放射線の種類にはα線、β線、γ線の存在や性質、放射性元素の崩壊、半減期の意味など例を交えながら説明を受けました。さらに、古代遺跡などの木材に含まれている炭素の放射性同位体元素の含有率を求めることで木材の年代が推定できることを学びました。また、半減期の理解を深めるため、サイコロを用いたユニークな実験が行われました。午後からは、フィールドワーク実習として、「日本科学未来館と千葉市科学館の違いはどこか」について環境を中心に調査学習を展開しました。



### 2013年度 SPP 講座【素粒子】第1回講座

「素粒子の世界が宇宙の謎を解く～素粒子がもたらす未来の科学技術～」10月25日(金)(高エネルギー加速器研究機構 つくばキャンパス) 内容: 加速器における電磁石、特に四重極磁石の役割と仕組みについて学習する 講師: 高エネルギー加速器研究機構 山本昇 教授 参加: スーパー特進コース3年

茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構(KEK)に到着後、「研究本館小林ホール」(2008年にノーベル物理学賞を受賞しました小林誠氏の名前に由来)にてKEKの施設・研究の概要の説明を受けました。午前中はBファクトリー加速器であるKEKB(ケックビー)を中心に見学をしました。この施設で行われたBe11実験は、ノーベル物理学賞の小林・益川理論を実験的に証明するなど、多くの素晴らしい成果をあげました。一周約3キロメートルのKEKBの見学は、バスで移動しての見学であり、施設の大きさを感じ、素粒子を捉えることの大変さを実感できました。午後は、四重極磁石の磁場測定実習に向けた電磁気の講義をしていただき、測定実習を行いました。



### 2013年度 SPP 講座【素粒子】第2回講座

「素粒子の世界が宇宙の謎を解く～素粒子がもたらす未来の科学技術～」11月12日(火)(本校)

内容: 素粒子がもたらす未来の科学技術について学ぶ。宇宙開発の最新技術を学習し、未来の科学技術を拓く知識を身につける。講師: 航空宇宙研究開発機構(JAXA) 清水幸夫 氏 参加: スーパー特進コース3年

今回の講座は、航空宇宙研究開発機構(JAXA)の清水先生に來校していただき、「宇宙開発における素粒子・粒子の応用」の講義を為されました。2010年6月13日、地球から約3億キロメートルに存在する小惑星「イトカワ」から、サンプルを採取し、無事に帰還を成し遂げた人工衛星「はやぶさ」について説明で、特に「イオンエンジン」のイオン粒子加速の原理について詳しく伺うことができました。また、持参した本物の隕石を初めて見ることもあり、生徒たちは釘付けになっていました。宇宙についての幅広い内容で、生徒たちの興味はより深まりました。後半は、今回ご講義いただいた内容を中心に、各班でディスカッションテーマを決め、ホワイトボードによる発表を行いました。



## 連載 ～ 望洋高校をもっと知る ～

### 卒業生だより(27)河内 伸亜 氏 (1997年3月卒業 印西市印旛中学校出身)

3年2組担任: 高橋正美 / 東海大学大学院文学研究科コミュニケーション学専攻 / 陸上自衛隊駐屯地医務室 勤務

先日、17年ぶりに望洋高校を訪ねました。個性的な先生方が今も教壇に立たれていらっしゃるのことがわかり、嬉しく思いました。望洋は大学付属ですので、懇切丁寧な進路指導を受けることが出来ます。卒業後に気づくことですが、一人一人の個性に目を向けて、伸ばそうと努力して下さる先生方の存在はとて有り難かったです。現在、私は千葉県内の自衛隊の医務室で臨床心理士として隊員のメンタルサポートを行っています。所属している部署(自衛隊では部隊と言います)では、様々な資格を持つ専門職の方が在籍しています。職人気質の方が多く、皆、個性豊ですが、災害派遣等の活動時には職種の垣根を越えて昼夜を問わず力を合わせて全力で活動を行います。日々の仲間との信頼関係が最も大切だと感じます。職場の先輩方は、夜明け前からトレーニングをし、人の見えないところで努力しています。そして、自分も努力をしなければと思わされることのある刺激の多い職場です。

### 望洋リレーエッセイ(50)芳賀 楓子 先生



「言霊」という言葉がある。言葉に宿ると信じられた霊的な力だ。昔から、発した言葉は現実になると信じられてきた。だから受験生に「落ちる」は禁句で、病院には「4」のつく部屋がない。人が声を発し、そして力が生まれる。それは逆に、「心に思う」だけでは力が生まれえないということを意識させる。震災で家族を失った少女が「大人になったら人を守る仕事がしたい」と言っていたのを聞いた。10歳にも満たない少女が、この言葉を発するために、どれほどの涙を流しただろう。彼女の内側から零れ落ちたその言葉には、確かに言霊が宿っていたように感じた。私たちも同じことだと思う。東大に入りたい・宇宙飛行士になりたい・誰かを幸せにしたい…自分の夢や希望を口にするのは確かに勇気がいる。しかし、愛から生まれた勇気のあるところにこそ、言霊は宿るのだと私は信じた。

**連絡板 ～ 日々の学校情報 ～ 緊急連絡は望洋通信システムでお伝えします。**

**●学園関係: ☆衛星プロジェクトが衛星設計コンテストで初の受賞を果たしました☆**

工学部航空宇宙学科の「東海大学衛星プロジェクト」が「衛星設計コンテスト」(主催: 日本機械学会ほか)の設計の部に初めて参加し、地球電磁気・惑星圏学会賞を受賞しました。このコンテストは、人工衛星開発に挑んでいる高校生や大学生の成果を発表する機会を設け、宇宙開発のすそ野を広げることを目的に毎年開催されているものです。設計のほか、アイデア、ジュニアの3部門で構成されており、中でも設計の部は過去の受賞団体が考案した衛星が実際に打ち上げられるなど、衛星開発を目指す人たちの登竜門となっています。今大会には、同部門に本学を含む8団体が出場しました。本プロジェクトからは、航空宇宙学科4年次生と大学院工学研究科航空宇宙学専攻の1年次生10名が、地球周辺の磁場を観測してマップを作成する衛星「Pyxis」のアイデアに応募しました。(東海大学工学部)



**●進路関係:** 付属推薦合格者個別指導課題Ⅱ提出 1月20日(月) / 海洋学部見学会 1月25日(土) 清水キャンパス (1・2年の生徒・保護者対象) / 情報通信学部見学会 1月25日(土) 高輪キャンパス (1・2年の生徒・保護者対象)

**●検定関係:** 実用英語能力検定 1月24日(金) / 日本漢字能力検定試験 2月8日(土) / ニュース時事能力検定 2月8日(土) / 実用数学能力検定 2月15日(土)

**●受賞関係:** 実用数学技能検定 6月22日(土) 準2級合格 2年8組兼松 茜 1年7組金木希紘 / 市原市明るい選挙啓発標語部門 最優秀賞 2年2組石川遼太郎 優勝賞 2年7組込谷優太 2年2組吉留沙恵 / 第7回高校生理科研究発表会 (千葉大学主催優秀賞受賞) 3年6組大井惣太 / バドン部市原市消防局消防協力者感謝状

**●土曜講座:** 1月25日「体づくりのための食事戦略①②」 / 2月1日「物理プチ実験①②③」 / 「数検面白対策講座②」

**●配布文書:** 「第3回実用数学技能検定」1月6日(月) / 「マラソン大会と事前健康調査、内科検診について」1月6日(月) / 「授業料等学納金の口座振替について」(3年)1月10日(金)

**<1月の主な行事>**

1月4日(土)	SHIP2013 事前研修
1月5日(日)	SHIP2013 出発～2月25日
1月6日(月)	全校集会 LHR 大掃除(3限)
1月7日(火)	前期選抜入試願書受付 生徒自宅学習
1月8日(水)	カウンセリング 21
1月10日(金)	[SPP & BSSP] 報告書作成実習
1月15日(水)	カウンセリング 22
1月16日(木)	前期選抜入試準備(3限授業+準備) (5限)
1月17日(金)	前期選抜入試 生徒自宅学習～18日 (土)
1月20日(月)	前期入試合格発表 付属推薦合格者 個別指導課題Ⅱ提出
1月22日(水)	卒業試験～25日(土)(3年3限)
1月24日(金)	英語検定
1月25日(土)	土曜講座 海洋学部見学会(清水キャンパス) 情報通信学部見学会(高輪キャンパス)

1月29日(水)	3年登校日1(答案返却 4限) カウンセリング 23
1月31日(金)	2年特進外部模試 3-1

**<2月の主な行事>**

2月1日(土)	土曜講座 1・2年特進外部模試
2月4日(火)	後期選抜入試準備(5限)
2月5日(水)	後期選抜入試(生徒自宅学習)
2月7日(金)	3年登校日2(4限) 後期入試合格発表
2月8日(土)	土曜講座 漢検 ニュース検定
2月12日(水)	3年登校日3(4限) カウンセリング 24
2月13日(木)	1・2年マラソン大会(午前)
2月15日(土)	入学予定者書類提出等 数検3 SPP・SSH 成果発表会(代々木校舎)
2月21日(金)	1・2年学年末試験～25日(火)
2月22日(土)	3年後援会理事会(卒業対策)3
2月26日(水)	生徒自宅学習(採点日)
2月27日(木)	1・2年答案返却 3年登校日4(4限)
2月28日(金)	1・2年特別授業 卒業式予行

**編集後記**

2014年、明けましておめでとうございます。昨年は、吹奏学部の定期演奏会が年の締め繰りをしてくれた。会場の席は埋め尽くされ、奏でられる音は来場された方々の心に届けられた。その一音一音は一瞬で終わるが、その音は時間をかけて練習して作られた高価な一音である。また、3年生は最後の演奏会であり、二度と舞台にあがることはない。そのときにしか出来ない燃焼であった。卒業までの一日一日も高価な一日にしてもらいたい。

**●学校報 第97号 / 東海大学付属望洋高等学校 〒290-0011 千葉県市原市能満 1531 TEL 0436-74-4721 ●**